

## 電子公平くじ (HashFair Draw)

1) 事前に公告・入札説明書へ明記

同価値入札が複数生じた場合、「電子公平くじ(HashFair Draw)」により落札者を決定する。

- (a) 入札者は入札書に 3 桁の「くじ番号」(000-999)を記入する（未記入の場合は“000”とする）。
- (b) 開札時、下記のように抽選文字列(文字コード：UTF-8)を連結し SHA-256 のハッシュ値（16 進）を得る。

抽選文字列 = 【 くじ番号 : くじ番号 排他的論理和(10進数で XOR) : 事業者名 】

↑
↑
↑

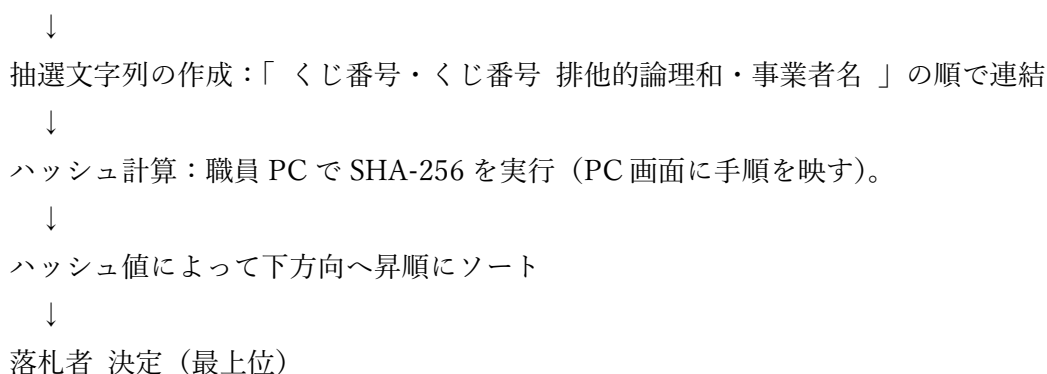
3桁
4桁
任意の桁数の文字列

- (c) ハッシュ値によって下方向へ昇順にソートし、最上位(数値として最小)の事業者を落札者とする。
- (d) 計算過程と入力値(抽選文字列)は開札調書に添付し公開する。

※ 抽選文字列の事業者名に含まれる空白は除去し、半角カタカナ及び半角英数字は全角にする。

2) 当日の実施フロー（開札会場で即時）

## 同額者の確定



### 3) 法定根拠

地自法施行令 167 条の 9「同価はくじで決定」。

(一般競争入札のくじによる落札者の決定)

第百六十七条の九 普通地方公共団体の長は、落札となるべき同価の入札をした者が二人以上あるときは、直ちに、当該入札者にくじを引かせて落札者を定めなければならない。この場合において、当該入札者のうちくじを引かない者があるときは、これに代えて、当該入札事務に関係のない職員にくじを引かせるものとする。

4) テキストの SHA-256 ハッシュを計算できるサイト(参考)

[https://emn178.github.io/online-tools/sha256.html?utm\\_source=chatgpt.com](https://emn178.github.io/online-tools/sha256.html?utm_source=chatgpt.com)